

地域と

医療の未来を考える

7月3日、後田地区公民館で「地域と医療の未来を語るカフェ」の第1回目が行われました。

今年度は、地域包括ケアに関わる各種計画の年になっていることもあり、地域の皆さんと一緒に考える機会として実施されました。



今回の語るカフェの主な目的は

- ① 自分を通して地域と医療を振り返ってみる
- ② 地域や医療の現状を共有してみる
- ③ 未来に目を向けてみるです。



地域の皆さんの目線で、地域と医療を振り返ります。

まず、20年前と現在の状況について、次の6項目について考えました。

- ① 情報を収集する方法は？
 - ② よく利用したお店は？
 - ③ 余暇の過ごし方は？
 - ④ 医療機関や受診先は？
 - ⑤ 人との付き合いは？
 - ⑥ 印象に残っている地域行事は？
- 参加者の皆さんは、各々20年前を思い出しながら書き進めていました。

約20年前の肝付町の主な出来事

- ★旧高山町・旧内之浦町町制70周年
- ★旧両町が合併して肝付町に
- ★国見トンネル開通
- ★高山やぶさめ館・内之浦銀河アリーナ誕生

約20年前の日本の主な出来事

- ★学校が週5日制に
- ★SARSがアジアを中心に世界的に大流行
- ★イラク戦争が開戦し、サダム・フセイン政権崩壊
- ★ヨン様大ヒット 等

20年前と現在の状況について、振り返ると、様々な「変化」が見えてきました。

次は、変化の理由をグループで考えました。

20年前と今の変化の理由

- ★仕事を引退したことで時間の使い方が変わった
- ★人付き合いが子ども関係から地域関係になった
- ★車生活になった
- ★年をとって、移動が大変になった
- ★病院にかかることが増えた
- ★新しいツール（SNS等）が増えたなど

この20年で、仕事や住んでいる場所、家族構成など様々な変化があったということがわかりました。

